

平成18年1月12日
経済産業省
原子力安全・保安院

石綿鉱山採掘跡地等実態調査の結果

経済産業省原子力安全・保安院では、昨年7月下旬からこれまでの間、過去の資料などから生産実績が確認できた31鉱山を対象に、産業保安監督部が主体となり、鉱山が所在する関係地方公共団体の協力を得て、採掘跡地等の植生の状況、他用途への転用などの現況について調査を行いました。また、採掘跡地等の植生が進行中の鉱山など一部の鉱山では、大気中の石綿粉じんの濃度を確認するため、測定を実施しました。

調査の結果、多くの鉱山の採掘跡地等において樹木や草木の繁茂、他用途への転用などが確認されたこと、また、実測した鉱山の大気中の石綿粉じん濃度は大気汚染防止法の敷地境界基準を下回っていたことから、石綿鉱山採掘跡地等から石綿粉じんが飛散する蓋然性は極めて低いものと考えられます。

1．調査対象鉱山

過去の資料などから生産実績が確認できた石綿鉱山は32鉱山ありましたが、鉱山所在地域における採掘箇所が同一と推定される鉱山があったため、調査対象鉱山は31鉱山となりました。

2．調査対象鉱山の所在地

調査対象鉱山の所在地は、北海道、岩手県、福島県、新潟県、埼玉県、静岡県、島根県、山口県、熊本県及び長崎県の1道9県です。

3．調査方法

産業保安監督部が主体となり、調査対象鉱山が所在する関係地方公共団体の協力を得て、現地調査を行いました。

4. 調査結果

以下のとおり、石綿鉱山採掘跡地等から石綿粉じんが飛散する蓋然性は極めて低いものと考えられます。

(1) 31鉱山のうち18鉱山⁽¹⁾については、樹木や草木が繁茂し、周辺の山林との一体化(地山化)が進展していること、果樹園、造成地など他用途への転用が行われていることなどが確認されたことから、石綿粉じんが飛散する蓋然性は極めて低いものと考えられます。

(1)・地山化の進展、他用途転用などが行われていた鉱山〔15鉱山〕:

浅野石綿鉱山、朝日右左府鉱山、新興鉱山、見沢鉱山、澤田鉱山、昭和鉱山、新潟石綿鉱山、立川アスベスト鉱山、清見鉱山、大道理鉱山、九州鉱山、明治石綿鉱山、小塩・五十鈴鉱山、崎陽鉱山、山王鉱山

・樹木などの繁茂により現地未到達の鉱山〔3鉱山〕: 東別鉱山、御園鉱山、宝鉱山

(2) 31鉱山のうち、既に採掘を終了しているものの採掘後の残りかす(鉱さい)から無石綿化製品を製造中の鉱山、採掘跡地等の植生が進行中の鉱山、樹木の中から一部採掘跡が垣間見える鉱山など8鉱山⁽²⁾については、大気中の石綿粉じん濃度を確認するため測定を行い、いずれの鉱山においても大気汚染防止法で定める敷地境界基準(10本/μg)を下回っていることを確認しました。

(2)・既に採掘を終了しているものの採掘後の残りかす(鉱さい)から無石綿化製品製造中の鉱山

〔1鉱山〕: ノザワ富良野鉱山

・採掘跡地などの植生が進行中の鉱山〔2鉱山〕: 山部鉱山、布部鉱山

・現在は石綿以外の鉱種を採掘している鉱山〔2鉱山〕:

八和田鉱山(採掘は休止中、砕鉱場は不定期操業) 山王赤松鉱山(休止中)

・樹木の中から一部採掘跡が垣間見える鉱山など〔3鉱山〕:

豊福鉱山、森松石綿鉱山、朝日川床鉱山

(3) なお、残りの5鉱山⁽³⁾については、鉱山が所在する地方公共団体に鉱山の所在地を確認しても特定できませんでした。これは、鉱山の終掘から相当の歳月が経過しているため、所在不明となったものと考えられます。

(3) 所在地が特定できなかった鉱山〔5鉱山〕:

岩手鉱山、須賀川鉱山、泉鉱山、浅川鉱山、原田鉱山

【本件に対する問い合わせ先】

1．調査の概要について

原子力安全・保安院 鉱山保安課

担当者：茂木、大川

電話：03 - 3501 - 1511（内線：4961～4965）
03 - 3501 - 1870（直通）

2．個別鉱山の概要について

(1) 北海道に所在した石綿鉱山

北海道産業保安監督部 鉱山保安課

担当者：石戸谷鉱山保安課長、真部鉱害防止課長

電話：011 - 709 - 2311（内線：2821・2822）
011 - 709 - 0720（直通）

(2) 岩手県、福島県に所在した石綿鉱山

関東東北産業保安監督部東北支部 鉱害防止課審査室

担当者：田口審査室長、奈良

電話：022 - 263 - 1111（内線：5313・5314）
022 - 213 - 9061（直通）

(3) 埼玉県、新潟県、静岡県に所在した石綿鉱山

関東東北産業保安監督部 鉱害防止課

担当者：黒川鉱害防止課長、山本

電話：048 - 601 - 1200（内線：3950～3959）
048 - 600 - 0446～0449（直通）

(4) 島根県、山口県に所在した石綿鉱山

中国四国産業保安監督部 鉱害防止課

担当者：佐々木鉱害防止課長、篠川

電話：082 - 224 - 5757（直通）

(5) 長崎県、熊本県に所在した石綿鉱山

九州産業保安監督部 鉱害防止課

担当者：山下鉱害防止課長、向井

電話：092 - 482 - 5933～5935（直通）

石綿鉱山採掘跡地等実態調査の結果一覧

【別添】

道県名	番号	鉱山名(よみかた)	鉱山の所在地	採掘期間	採掘跡地、捨石たい積場の状況
北海道	1	ノザワ富良野鉱山(のざわふらの)	北海道富良野市	S17～S44	既に採掘を終了しているものの、採掘後の残りかすの鉱さいを焼成し、無石棉化した製品を製造中。採掘跡入口部及びたい積場を含む敷地境界における大気中の石綿粉じん濃度を測定したところ、大気汚染防止法の基準値(10本/μg)を下回っている。
	2	山部鉱山(やまべ)	北海道富良野市	S17～S49	道路と鉱山境界は草木による緑化進行。鉱山入口部境界点における大気中の石綿粉じん濃度を測定したところ、大気汚染防止法の基準値(10本/μg)を下回っている。
	3	布部鉱山(ぬのべ)	北海道富良野市	S15～S24	道路と鉱山境界は草木による緑化進行。鉱山入口部境界点における大気中の石綿粉じん濃度を測定したところ、大気汚染防止法の基準値(10本/μg)を下回っている。
	4	浅野石綿鉱山(あさのせきめん)	北海道占冠村	S20	鉱山跡地は草木が繁茂し、地山化している。
	5	朝日右左府鉱山(あさひうさつぶ)	北海道日高町	S20～S25	鉱山跡地は整型・客土・植栽が行われ、更に自生による草木も繁茂している。
	6	東別鉱山(とうべつ)	北海道静内町、三石町	S16～S24	樹木繁茂、草木深く、現場へ到着できず。
	7	御園鉱山(みその)	北海道静内町	S20～S21	樹木繁茂、草木深く、現場へ到着できず。
	8	宝鉱山(たから)	北海道静内町、三石町	S17～S25	樹木繁茂、草木深く、現場へ到着できず。
	9	新興鉱山(しんこう)	北海道平取町	S16	鉱山跡地は草木が繁茂し、地山化している。
岩手	10	見沢鉱山(みさわ)	岩手県釜石市(旧上閉伊郡甲子村・鶴住居村)	S13～S26	鉱山跡地は草木が繁茂し地山化している。また、製品工場跡地は盛土し造成されている。
	11	岩手鉱山(いわて)	岩手県釜石市(旧上閉伊郡甲子村・鶴住居村)	S18	地元自治体に照会するも、場所特定できず。
福島	12	須賀川鉱山(すかがわ)	福島県須賀川市(旧石川郡大森田村)	S18	地元自治体に照会するも、場所特定できず。
	—	金剛鉱山(こんごう) ※澤田鉱山と同一と推定	福島県石川郡石川町(旧石川郡沢田村)	S18	旧沢田村内の採掘箇所は澤田鉱山しかないので、金剛鉱山と澤田鉱山は同一と推定。
	13	泉鉱山(いずみ)	福島県石川郡玉川村(旧石川郡泉村)	S2～S8	地元自治体に照会するも、場所特定できず。
	14	浅川鉱山(あさかわ)	福島県石川郡浅川町	S10～S12	地元自治体に照会するも、場所特定できず。
	15	澤田鉱山(さわだ)	福島県石川郡石川町(旧石川郡沢田村)	S21～S22	鉱山跡地は草木が繁茂し、地山化している。
埼玉	16	八和田鉱山(やわた)	埼玉県比企郡小川町	S44～S47	石綿以外の鉱種を採掘しているが、現在採掘は休止中。砕鉱場は不定期操業。敷地境界における大気中の石綿粉じん濃度を測定したところ、大気汚染防止法の基準値(10本/μg)を下回っている。
	17	昭和鉱山(しょうわ)	埼玉県児玉郡児玉町(旧児玉郡本泉村)	S18	元従業員の証言で石綿を採掘していたとされる箇所を調査。採掘跡周辺は杉が植林され、採掘跡は湿潤な状態にある。
新潟	18	新潟石綿鉱山(にいがたせきめん)	新潟県南魚沼市(旧南魚沼郡上田村)	S17～S18	採掘跡地一帯は山林と化し、地山化している。
静岡	19	立川アスベスト鉱山	静岡県浜松市(旧磐田郡熊村)	S22	石綿を採掘していたとされる箇所を調査。採掘跡は山林内の凹地にあり、一帯は湿潤な状態にある。
島根	20	清見鉱山(せいみ)	島根県江津市(旧邑智郡桜江町、江津市)	S21～S29 S41～S47	採掘跡地、堆積場とも草木が繁茂し、地山化している。
山口	21	大道理鉱山(おおどおり)	山口県周南市(旧都濃郡向道村)	S17 S21～S24	たい積場は草木が繁茂している。坑口(たて坑)があったため、自治体が立入禁止措置を実施。

長崎	22	九州鉱山(きゅうしゅう)	長崎県長崎市布巻町(旧西彼杵郡蚊焼村)	S16～S25	採掘跡地は整地し、他用途に転用されている。周辺の植生も良好。
	23	明治石綿鉱山(めいじせきめん)	長崎県長崎市布巻町(旧西彼杵郡蚊焼村)	S18～S22	採掘跡地2箇所のうち、1箇所は山奥の雑木林の中にあり、湿潤な状態で草木が繁茂している。他の1箇所はゴルフ練習場に転用され、全般で覆われている。
	24	小塩・五十鈴鉱山 (おしお・いすず)	長崎県長崎市布巻町(旧西彼杵郡蚊焼村)	S17～S18	採掘跡地2箇所のうち、1箇所は公園の一部となっており、全面的に植栽されている。他の1箇所は雑木林の中にあり、草木が繁茂している。 なお、当該鉱山の近傍に採掘跡地が5箇所あるが、そのうち3箇所は病院、市の施設、鉄工所の一部となっており、残りの2箇所も植林され採掘跡の痕跡は認められない。
	25	崎陽鉱山(きよう)	長崎県長崎市川原町(旧西彼杵郡川原村)	S16～S19	採掘跡地は整地され、果樹園に転用されている。
熊本	26	山王鉱山(さんのう)	熊本県山鹿市平山 (旧鹿本郡平小城村、玉名郡緑村)	S18	坑口(坑内堀)が2箇所あるが、いずれも山奥に位置している。坑道内の一部には石綿が散見されるが、内部は湿った状態で、坑外へ飛散する可能性は極めて少ない。自治体が坑口に立入禁止柵を設置。
	27	山王赤松鉱山(さんのうあかまつ)	熊本県八代市、葦北郡	S43～S47	石綿以外の鉱種を採掘していたが現在休止中。敷地境界における大気中の石綿粉じん濃度を測定したところ、大気汚染防止法の基準値(10本/μg)を下回っている。
	28	豊福鉱山(とよふく)	熊本県宇城市松橋町豊福、内田 (旧下益城郡松橋町)	S13～S46	採掘跡地は工場用又は宅地用を目的として造成され、また、工場跡地(石綿ボード工場・砕鉱場)は全面覆土されている。敷地境界における大気中の石綿粉じん濃度を測定したところ、大気汚染防止法の基準値(10本/μg)を下回っている。
	29	森松石綿鉱山(もりまつせきめん)	熊本県山鹿市平山	S17～S26	採掘箇所は2カ所あり、うち1カ所は規模も小さく採掘跡地は草木で覆われている。また、他の1カ所は採掘跡地が残されているものの石綿は認められない。敷地境界における大気中の石綿粉じん濃度を測定したところ、大気汚染防止法の基準値(10本/μg)を下回っている。
	30	朝日川床鉱山(あわひかわどこ)	熊本県宇城市松橋町浦川内 (旧下益城郡当尾村)	S23～S25	採掘箇所と思われるところが3箇所あり、うち1箇所は石綿の採掘跡と思われるところはなくなっている。また、他の2箇所は跡地及びその周辺とも草木で覆われている。敷地境界における大気中の石綿粉じん濃度を測定したところ、大気汚染防止法の基準値(10本/μg)を下回っている。
	31	原田鉱山(はらだ)	熊本県	S24～S25	地元自治体に照会するも、場所特定できず。